

## 会 員 各 位

一般社団法人 日本科学機器協会  
技 術 委 員 会

## 科学機器学習教室 2018-1 『真空の基礎と利用技術、薄膜製造等真空機器』開催

当委員会では、会員企業の新人社員教育や営業マンのスキルアップの一環として、あるいは業界人として科学機器についての基礎知識を身につけたいと望んでおられる方々を対象に10年間に亘り、科学機器学習教室を開催してまいりました。

今回は、標記教室を以下の通り開催し、真空関連の基本的な「圧力・真空を理解する基礎的な考え方や真空環境を利用した低真空・中真空・高真空までに係る真空利用技術、真空中で膜を作る」などを中心に、文系の方にも分かりやすく解説していただきます。

参加ご希望の方は、別添の申込書にご記入の上、5月9日（水）までに mail または Fax<03-3842-0324>にてお申込みください（定員に達し次第、締め切ります）。

## 【開催要領】

1. 日時：2018年6月1日（金）13:00～16:50 （受付12:30より）
2. 会場：中央大学駿河台記念館670号室（千代田区神田駿河台、JRお茶の水駅 徒歩3分）
3. 講師：木ノ切 恭治氏（真空テクノサポート代表、元日本真空工業会 専務理事）
4. プログラム：『真空の基礎と利用技術、薄膜製造等真空機器』

## 第1部：真空の基礎

圧力とは何か、圧力の世界、真空を作る、真空を理解する基礎的な考え方等を解説。

## 第2部：真空利用技術

真空環境（差圧、断熱作用、蒸発、酸素がない、放電利用）を利用した低真空・中真空・高真空までに係る真空利用技術を紹介し、真空技術の幅の広さを学習する。

## 第3部：真空薄膜製造技術

膜とは何か、真空蒸着、スパッタリング、CVD等の薄膜製造メカニズムを解説し、その薄膜が如何に我々の生活と係わるのか等について学習する。

## 第4部：各種真空機器と真空装置

各種真空装置と装置を構成する真空部品、真空ポンプや真空計の原理や特長、各種真空装置を構成する事例などについて解説する。

## 第5部：真空に係わる産業構造

産業界のどの分野に真空が用いられているか、その位置づけや規模等について学習する。

5. 定 員：先着80名（定員に達し次第、締め切ります）
6. 参加費：お一人 3,000円 \*お申込み時に請求書を発行、お振込みください。

※申込み（お問合せ）先：一般社団法人 日本科学機器協会/東京科学機器協会

事務局（菅）Tel：03-3661-5131 Fax：03-3668-0324

以上

一般社団法人 日本科学機器協会  
事務局 行

科学機器学習教室 2018-1  
『真空の基礎と利用技術、薄膜製造等真空機器』

# 申 込 書

御 社 名 : \_\_\_\_\_

連絡担当者 : (責任者名) \_\_\_\_\_

住 所 : 〒 □ □ □ - □ □ □ □

TEL : \_\_\_\_\_ FAX : \_\_\_\_\_

E-mail : \_\_\_\_\_

この度、標記教室(6月1日(金)開催)の参加者として、以下の通り申込みます。

No.	(ふりがな) 氏 名	所属・役職名
1	( )	
2	( )	
3	( )	
4	( )	
5	( )	
6	( )	
7	( )	

\*お申込み多数の場合、この用紙をコピーしてご利用ください。

• FAX'18.4.4